

令和5年度 新潟県立歴史博物館 後期講座(10月~3月)のご案内・申し込み書(2023. 9. 10)

後期の申し込みは9/1~受付いたします。

裏面あり

□お申込日: 月 日 □お名前: (読み方) □お電話番号: ( ) □ご住所:

期日	曜	時間	講座名	講師	内容	対象	定員	会場	御希望の欄に「○」をつけてください	お申込み人数
10月7日	土	13:30~15:00	たかが土器、されど土器 (1回目)	西田 泰民	割れて使えなくなったやきものが捨てられ、ゴミ捨て場に埋もれていくことが、世界の各地で数千年続いてきました。そしてそれを過去の社会を知る手がかりにしようと世界中で研究に取り組んでいる人々があります。考古学の中で重要な研究材料となっている土器を使って何が明らかにできるのか、製作、使用、廃棄などの視点から紹介し、土器起源論の現在について2回にわたって紹介します。	一般	50	講堂		
10月14日	土	13:30~15:00	たかが土器、されど土器 (2回目)	西田 泰民	割れて使えなくなったやきものが捨てられ、ゴミ捨て場に埋もれていくことが、世界の各地で数千年続いてきました。そしてそれを過去の社会を知る手がかりにしようと世界中で研究に取り組んでいる人々があります。考古学の中で重要な研究材料となっている土器を使って何が明らかにできるのか、製作、使用、廃棄などの視点から紹介し、土器起源論の現在について2回にわたって紹介します。	一般	50	研修室		
10月21日	土	13:30~15:00	佐渡金銀山の採掘技術	渡部 浩二	江戸時代の佐渡金銀山の坑道採掘の技術や道具、労働組織などについて解説します。	一般	50	研修室		
10月28日	土	13:30~15:00	新潟県内の式内社を探る(第2回)	浅井 勝利	平安時代に編纂された『延喜式』には全国の神社のリストがあります。ここに掲載されている神社を式内社と呼び、少なくとも平安時代からの由緒がある神社とされます。これらの神社について現在の神社との関係などを中心に考えます。	一般	50	研修室		
11月4日	土	13:30~15:00	越後の鬼伝説を考える —まつろわぬモノと仏教—	遠山 典子	越後は古来、酒吞童子など鬼の出身地と都人からイメージされてきた土地です。 また、古代の越後が舞台となる伝説には、「まつろわぬ」民や鬼、異類が登場しますが、仏教がその教化を通じて、在地の民衆を律令的支配のなかに取り込もうとしたことが背景にあることについて考えます。	一般	50	研修室		
11月11日 11月18日	土	13:30~15:00	古文書講座 ~江戸時代を探る~ 前編・後編	渡部 浩二	江戸時代の越後の人々のくらしがわかるような古文書を教材とし、古文書解説とともに文書の社会的背景を解説します。なお、対象者は古文書中級者とします。	一般	36	研修室		
11月25日	土	13:30~15:00	横文字古文書を読む	西田 泰民	日本の歴史を物語る文書は日本語で書かれたものだけとは限りません。戊辰戦争時に新潟を訪れた英人医師ウィリアム・ウィリスや明治2年に新潟に商店を構えたドイツ商人ウェーバーなどの英語の書簡原文をテキストに横文字古文書の解説にチャレンジします。	一般	50	講堂		
12月2日	土	13:30~15:00	博物館を知る講座 「プラネタリウムの過去、現在、未来」	山本 哲也	1923年に光学式の本格的プラネタリウムができてから100年。プラネタリウム開発前史やプラネタリウム誕生の経緯、そして日本での導入と発展、さらに現在地点を確認し、未来を展望します。	一般	50	研修室		
12月9日	土	13:30~15:00	『源氏物語』の基礎知識	浅井 勝利	令和6年から放送される大河ドラマには『源氏物語』が選ばれました。ドラマを見るうえで知っていることより楽しめるように『源氏物語』の基礎的な事項について学びます。	一般	50	研修室		
12月16日 12月23日	土	13:30~15:00	古文書講座 ~越後文書宝翰集を読み解く~ 前編・後編	前嶋 敏	『越後文書宝翰集』所収の中世文書を読みながら、当時の時代背景などを考えます。	一般	36	研修室		

期日	曜	時間	講座名	講師	内容	対象	定員	会場	御希望の欄に「○」をつけてください	お申込み人数
1月20日	土	13:30~15:00	火焰土器の突起をつくる	宮尾 亨	火焰型土器や王冠型土器を特徴づける突起などのパーツの作り方を出土品の観察内容にもとづいて説明し、紙粘土で実際につくります。	一般	18	研修室		
2月3日	土	13:30~15:00	木綿のカタチ・ワザ・地コトバ ～越後・佐渡の仕事着を読み解く～	陳 玲	越後・佐渡では、木綿布が仕事着に用いられる中、関連する独自の技術や衣生活が地域ごとに異なって生み出されてきました。ここでは、具体的な資料や事例を通して解説します。	一般	50	研修室		
2月17日	土	13:30~15:00	縄をつくる・縄文をつくる	宮尾 亨	縄の撚り方によって変化する縄文土器の文様を実際に体験します。	一般	18	研修室		
2月24日	土	13:30~15:30	トークセッション 「再考・越後の綿織物」	陳 玲 県内の資料館・博物館の学芸員	地域の資料館・博物館には、越後の綿織物の見本帳などが保管されていますが、これまでは地域ごとに検討されるのみで、越後全体の中で位置づけられることはありませんでした。本展の準備をきっかけとして、各館の学芸員が互いの資料や情報について共有し、研究を進めてきました。このトークセッションでは、研究の課題を整理し、特に原料の入手、流通、衣生活などをテーマに、越後の綿織物を捉え直したいと思います。	一般	50	研修室		
3月16日	土	13:30~15:00	越後地域近世近代窯跡の調査	西田 泰民	幕末から明治にかけて県内に勃興した製陶業についての概説と、窯址を踏査した今年度の成果について報告します。	一般	50	研修室		
3月30日	土	13:30~15:30	体験型講座 作ってみよう「本格まが玉」 (春の部)	山本 哲也	一般に体験用として使う滑石(かっせき=硬度1)ではなく、やや硬い石材(硬度3)を使い、また、昔の製作技法も一部取り入れながら、ちょっとだけ本格的なまが玉作りを体験します。なお、「親子向け」とし、「保護者と小学生以下の組み合わせ」を原則とします。(要材料費300円)	親子	15	研修室		

## <申込時期・申込方法>

申込時期：後期講座のお申し込みは9月1日から、以下のいずれかの方法でお申し込みください。9月1日前のお申し込みは受付できませんので、ご了承ください。

申込方法：お申し込みは、「この用紙」「電話」「ファックス」または「メール」での申込となります。

いずれも、①希望講座名、②お名前、③住所、④電話番号の4項目を明記してください。

※「この用紙」にて、当館受付で直接申し込まれた方につきましては、定員オーバー等、特別の場合以外は連絡いたしませんので、当日、直接お越しください。

※講師都合等による実施日の延期(中止)という場合があります。その際、申込者にはご連絡をいたします。お申込されていない方は、当館ホームページなどでご確認ください。

※お申し込みをキャンセルされる場合は、事前に下の連絡先へご連絡くださるようお願いいたします。

## 〔申込先〕

〒940-2035 新潟県長岡市関原町1-2247-2 新潟県立歴史博物館 経営企画課

TEL:0258-47-6135 FAX:0258-47-6136 メール:koryu@nbz.or.jp

※お申し込みいただいた際の個人情報、参加の可否、及び中止・延期等の連絡以外に使用いたしません。

○講師等の都合により、実施の可否や内容、定員や会場についての変更が生じる場合がございます。ご理解をいただけますようお願いいたします。  
○お申し込み後の変更につきましては、お申し込みをいただいた皆様へご連絡をいたします。また、ホームページに掲載いたしますので、

こちらから、当館ホームページの講座情報を  
ご覧いただく

